

授業科目名	作業療法評価学 I		授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	木村 公亮、前谷 一旗		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>評価の概念と基本的・一般的な評価法を学習する。 また、障害像の把握に必要な評価技術の方法について学習する。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>評価の目的、方法、留意点について理解する</p>					
授業回数	授業内容					
第 1 回	作業療法と評価				〔前谷〕	
第 2 回	領域共通の評価法①（意識の評価・バイタルサインの測定）				〔前谷〕	
第 3 回	領域共通の評価法②（形態計測）				〔前谷〕	
第 4 回	領域共通の評価法③（関節可動域測定）				〔前谷〕	
第 5 回	領域共通の評価法④（筋力検査）				〔前谷〕	
第 6 回	領域共通の評価法⑤（感覚検査）				〔木村〕	
第 7 回	領域共通の評価法⑥（反射検査・協調性検査）				〔木村〕	
第 8 回	領域共通の評価法⑦（姿勢反射検査）				〔木村〕	
第 9 回	領域共通の評価法⑧（筋緊張検査）				〔木村〕	
第 10 回	身体機能評価法（片麻痺運動機能評価）				〔木村〕	
第 11 回	領域共通の評価法⑨（摂食嚥下）				〔木村〕	
第 12 回	画像情報の利用方法				〔木村〕	
第 13 回	認知機能評価①（記憶・注意障害）				〔木村〕	
第 14 回	認知機能評価②（遂行機能障害）				〔木村〕	
第 15 回	認知機能評価③（知的機能）				〔木村〕	
評価方法	小テスト（20%）、筆記試験（80%）					
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 理学療法学・作業療法学 作業療法評価学（医学書院） 新・徒手筋力検査法（協同医書出版社）</p>					
履修上の 留意点	出席が必須条件で授業を進めます。					
メッセージ	評価は訓練や目的を立案する上でも重要な科目となります。臨床実習でも必ず必要になってくる科目ですので1年時に評価の礎をしっかりと築いて下さい。					